

米・製粉などの農産物から、建築資材や化学薬品まで輸送や貯蔵に適したクラフト紙袋製造業の発展を目指します。

私たちは
重包装紙袋製造業者の
改善発達、経営安定及び
合理化を図るため
次の事業を行います。

指導及び教育

情報・資料の
収集及び提供

調査研究

クラフト紙袋は「軽い」「強い」「廃棄しやすい」などの特色をもち、内容物特性に対する適合性に優れていることにより、各方面で古くから愛用され、産業用包装容器として現在、年間約11億袋使用されております。

クラフト紙袋は、地球にやさしい天然資源を原料として作られたクラフト紙をベースに、袋の中に充填する内容物に対応して袋の構成を多層構造にすることにより、それぞれの特性を持たすことが出来ます。

一方、天然由来の原料であるため、使用条件や環境等により、袋の強度が弱くなることがありますので、紙袋を安全に、正しくお使いいただくためには、紙袋の流通・使用の段階で、取扱いには十分ご注意頂きたいと存じます。

私たちは、日本の産業にとって、必要不可欠な包装容器である高品質なクラフト紙袋を、今後も安定的に供給することで、日本経済の発展に貢献して行く所存です。この小冊子が皆様方に少しでもお役に立てればと願っております。

令和2年(2020年)3月



全国クラフト紙袋工業組合の
ホームページはこちらから
<https://www.kraftkoukumi.jp/>

ご質問やご不明な点は、お気軽にお寄せ下さい。

全国クラフト紙袋工業組合員の許可なく無断転載を禁ず



紙袋を
安全に、正しく
お使いいただくために

全国クラフト紙袋工業組合 技術委員会
令和2年(2020年)3月

1 取り扱い上の基本事項

- (1) 紙袋の仕様については、事前に製袋メーカーに確認をして下さい。内容物が下記の場合には、事前に製袋メーカーにご相談して下さい。

- ・高温物のもの。
- ・紙、ポリ、縫糸、印刷インキ、接着剤等を劣化させる危険性があるもの。
- ・臭いの吸着を嫌うもの。
- ・耐水性を必要とするもの。
- ・防湿性を必要とするもの。
- ・耐油性を必要とするもの。

*受発注時に指定された使用目的以外の用途には使用しないで下さい。

- (2) 受入れ時には下記の点にご注意下さい。

- ・紙袋の汚れや軽く破れた程度の傷は、運搬中に発生する場合があります。
- ・インキは擦れることでインキ落ちや転写をします。
- ・紙袋の受入検査時に異常があった場合は速やかに製袋メーカーへご連絡下さい。

- (3) 紙袋は1回限りの使用を目的に製造したものです。使用済み袋や包装資材については使用者側の責任において処理しなければなりません。

- (4) 紙袋の劣化の原因になりますので、下記の点にご注意下さい。

- ・日光や紫外線に当たらないようにして下さい。
- ・高温多湿や低温乾燥の場所には保管しないようにして下さい。
- ・火気の近くには保管しないで下さい。
- ・潮風にはあてないようにして下さい。
- ・紙袋は経年劣化しますので、早めに使用して下さい。
- ・防虫、防鼠対策をして下さい。

2 充填後の積付け・荷役・保管についての注意

- (1) 積付け

積付けには十分にご注意下さい。積付けした袋が「突然崩れると大変危険」です。荷崩れしないよう下記の点にご配慮下さい。

- ・紙袋は製袋メーカーで「防滑処理」ができませんが、充填後の積付けには必要に応じて荷崩対策をお願いします。
- ・内容物をならして平らにし、垂直に積付けて下さい。必要以上に高積みしないで下さい。
- ・紙袋の外面に粉が付着したままご使用になると保管・運搬中の滑り・荷崩れにつながるにご注意下さい。
- ・紙袋は雨や結露などによる水濡れには対応しておりません。袋が濡れないよう、移動や保管にはご注意ください。
- ・積付けに際しては、袋間に大きな隙間ができないようにご注意ください。
- ・濡れ、汚れ、傷・虫食い等がない、きれいなパレットをご使用下さい。
- ・紙袋の充填後の高さについては、紙袋の寸法の許容差内において違いが出る場合があります。

- (2) 荷役

下記の点に注意し、異常な荷扱いは避けて下さい。

- ・紙袋は水平状態で荷役・輸送するように設計されていません。特に垂直落下と側面落下に弱いので、荷扱いにはご注意ください。
- ・バンド付きの紙袋は、バンドを持って荷扱いしないで下さい。
- ・紙袋に手をかけて引きずり出すような乱暴な荷扱いはしないで下さい。
- ・剥離のりは容易に剥がれますので、過度に叩くのはおやめ下さい。
- ・紙袋の運搬中に汚れや傷が発生しないようご注意ください。

- (3) 保管

前項1-(4)と同様、紙袋の劣化の原因になる保管はおやめ下さい。

3 紙袋の開封時の注意について

- (1) 間違った開封を行いますと、異物混入の可能性がありますので、正しく開封するようにして下さい。
- (2) ミシン糸をほどいて開封する場合や紙袋を刃物で切って開封する場合は、糸片や紙片が混入する場合がありますのでご注意ください。
- (3) カットテープ付きの袋は化粧紙を片方の手で押さえて、カットテープを真直ぐに引いて開封して下さい。
- (4) ミシン袋のクレープ耳部分やイーザーオープン袋の補強紙部分を持つようなハンドリングはしないで下さい。

4 品質の保証について

- (1) 品質の保証は、各製袋メーカーとの間で取決めを行い、締結して下さい。